

## 【クリアファイル作成に関する注意事項】

- 溶着部分への印刷は可能ですが、溶着の熱によって剥がれ、乾いたインクの粉末が内側に残る事がございます。黒などの濃い色は目立つ場合がございますので、溶着部分にデータを引かないことをお勧めいたします。
  - P P素材は加工過程で若干独特な臭気がある場合がございます。人体に影響はございませんが、気になる場合は密封せずにしばらく風通しのよい状態にして頂ければ、なくなります。
  - クリアファイルに刷ったばかりの印刷物を挟み込んでご使用になる場合、稀にクリアファイルがカールする現象が起きます。これはP P素材と一般のオフセット印刷インキに含まれているV O C (揮発性有機化合物)が化学反応を起こすためです。一般に印刷物は十分に乾燥させてからセットするようにしてください。
- 

### ●画像データは「リンク」させてください。

データ作成時に使用した画像は埋め込みせず、リンクさせてください。その際、画像のカラーモードは必ずCMYKにしてください。また、リンク画像データはイラストレータと同フォルダ内に入れていただくようお願いいたします(リンクが外れてしまう可能性があるため)。またファイルの同名にもご注意ください。

### ●画像データは印刷に適したサイズをご使用ください。

印刷用画像データとして適切なサイズは、原寸サイズで350dpiです。サイズが小さかったり、解像度が低かったりすると、データ作成時に画面で見ているより劣化した状態で印刷されてしまいますのでご注意ください。  
※もともと解像度の低いデータを数値だけ変化させても荒さは変わりません。

### ●罫線の線幅は0.3pt(0.1mm)以上に設定してください。

これより細い場合、印刷した際に線が表現されない可能性があります。

### ●校正見本を添付してください。

jpgデータまたはpdfデータを必ず校正見本として添付してください。

### ●データ入稿の際に不要なデータは添付しないでください。

トラブルの原因となりますので、「印刷用イラストレータデータ」「リンク画像データ」「校正見本」以外の不要なデータは添付しないようお願いいたします。

### ●一つのフォルダにまとめて、圧縮してお送りください。

入稿データは、必ず一つのフォルダにまとめて、圧縮してお送りください。

### ●透明効果について

イラストレータで透明効果(オーバーレイや差の絶対値など)を使用される場合、その部分はラスタライズをしてください。K100%はリッチブラックになるように作成ください。

### ●仕上がりの色について。

印刷色は出力見本に極力合わせますが、お客様がプリンターで印刷されたものや素材が違うものへの印刷物とは、印刷対象物・インクの関係で色合い・濃さが多少異なる点を御了承ください。また、パソコン画面上の色味とも若干異なります。  
※色味がご心配のお客様は、校正(別途料金)されることをお勧めします。

### ●白打ち版について。

白打ち指定(白版)は同一データ内の別レイヤーに、黒(K100%)1色で作成してください。  
絵柄や文字下に透けないようにするために白打ちをする場合、絵柄や文字より0.1mm細らせてください。